

全国161人 華麗に競う

バレエコンクール プリ・ド・カナザワ



昨年のプリ・ド・カナザワで、審査前に演技を確認する出場者
—2016年9月、金沢市の金沢歌劇座

16、17日 金沢で開催

16、17日に金沢市文化ホールで行われる第2回全国バレエコンクール「プリ・ド・カナザワ2017」(北國新聞社主催)の出場者が決まった。全国17都府県から昨年を上回るダンサー161人がエントリーし、金沢を舞台に熱く華麗に競い合う。



石川から42人、富山から26人が参加するほか、福井、新潟、長野の北信越、東京、大阪、京都、愛知などからダンサーが集結する。

コンクールは小学生(4～6年)、中学生、高校生、シニア(高校卒業後29歳)の4部門で競う。協力バレエ団の谷桃子バレエ団、東京シティ・バレエ団、バレエシヤンブルウエスト、牧阿佐美バレエ団(五十音順)の指導者や芸術監督ら8氏が審査する。審査委員長はバレエシヤンブルウエスト総監督の今村博明さんが務める。

第2回コンクールは、高校3年とシニアの部の決選進出者の中から、特に優秀と認められた出場者に「プリ・ド・カナザワ賞」が贈られ、協力バレエ団と入団交渉する権利が与えられる。

ポイント制度が設けられていて、小学生から高校生までの参加者には学年と順位によってポイントが与えられる。累計800ポイントを獲得すれば協力バレエ団との交渉権を得られる。今大会から250ポイントに達すれば、協力バレエ団の公演ペアチケットが贈られる。

日本バレエ協会、石川県、金沢市、一般財団法人県芸術文化協会、県舞連盟などが後援する。

コンクールは、16日午前11時から予選、17日午前10時から決選が行われる。入場料は全席自由で、予選が800円、決選が1300円となる。いずれも当日は200円増し。問い合わせは北國新聞読者サービスセンター076(260)8000まで。